



東京医科大学 茨城医療センター 就職ガイダンス

東京医科大学茨城医療センター 看護部

令和4年度
業務委員会



内容

- 茨城医療センターの特色
- 看護部理念
- 看護部の教育体制
- 看護の現場
- 就職先の決め手

地域包括ケア（南4階）病棟

目標「ひとりでも多く在宅へ」



多職種カンファレンスの様子



歩行訓練の様子

訪問看護ステーション

「明るい在宅支援」をモットーにしています
気管切開や人工呼吸器を装着された方や点滴、経腸栄養の管理をされている方々への訪問看護を実施しています。



訪問看護ステーションスタッフ



訪問へ出発

人工透析センター

維持透析：110件/月
導 入：50件/年



週3回の夜間透析も実施しています。

病棟紹介

南2階病棟

整形外科を主科とした
49床の病棟



自走の見守り

南3階病棟

眼科・皮膚科を主科とした
35床の病棟



病棟診察風景

中央2階病棟

呼吸器内科・呼吸器外科を
主科とした53床の病棟
(緊急入院用病床8床含む)



緊急入院病棟

中央3階病棟

脳神経外科・脳神経内科を
主科とした43床の病棟



多職種カンファレンスの様子

中央4階病棟

産婦人科・乳腺科・小児科を
主科とする21床の病棟



新生児の沐浴風景

東4階病棟

循環器内科・腎臓内科・総合診療科
耳鼻咽喉科・口腔外科を
主科とする49床の病棟



循環器医師による心臓カテーテル検査

東5階病棟

消化器内科・消化器外科
代謝内分泌科・泌尿器科を
主科とする45床の病棟



インスリン手技取得のための指導

東6階病棟

陰圧室4床、陽圧室2床を
有する46床の病棟
(令和2年12月COVID-19患者受け入れ)



看護ケアの実施の様子

集中治療室

個室3床
オープンフロアー5床



患者ケアの様子

中央手術室

全8部屋
年間約3300件の手術



手術の様子

外来

1日に800～1000人の
患者さんが来院

“断らない救急”を
目指し24時間体制



外来待合室



救急外来

看護部理念

心に寄り添う温かな看護

【行動指針】

- 患者さんとの信頼関係を大切にし、優しさ溢れる看護を提供します。
- 患者さんの権利を尊重し、安全で安心な看護を提供します。
- 患者さんの気持ちに寄り添い、意思決定を尊重できるよう支援します。
- 地域連携を密にし、患者満足が得られる看護提供を目指します。
- 医療人として人間性豊かで倫理感を重視できる人材を育成します。

認定看護師

認定看護分野	人数
感染管理	2名
糖尿病看護	2名
緩和ケア	2名
集中ケア	1名
救急看護	1名
がん化学療法看護	2名
認知症看護	1名
皮膚・排泄ケア	2名
乳がん看護	1名
摂食・嚥下障害看護	1名

専門看護師

専門看護分野	人数
急性・重症患者看護	1名
母性看護	1名

特定看護師：3名

特定行為区分名称

●感染に係る薬剤投与関連

栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連

●血糖コントロールに係る薬剤投与関連

●動脈血液ガス分析関連

呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連

- ・侵襲的陽圧換気の設定の変更
- ・非侵襲的陽圧換気の設定の変
- ・薬の投与量の調整
- ・人工呼吸器からの離脱



感染管理認定看護師

看護体制

看護提供方式
チームナーシング
(一部パートナーシップ)

2交代制

日勤:8:30-16:30

8:30-17:00

8:30-17:30

当直:16:30-9:00

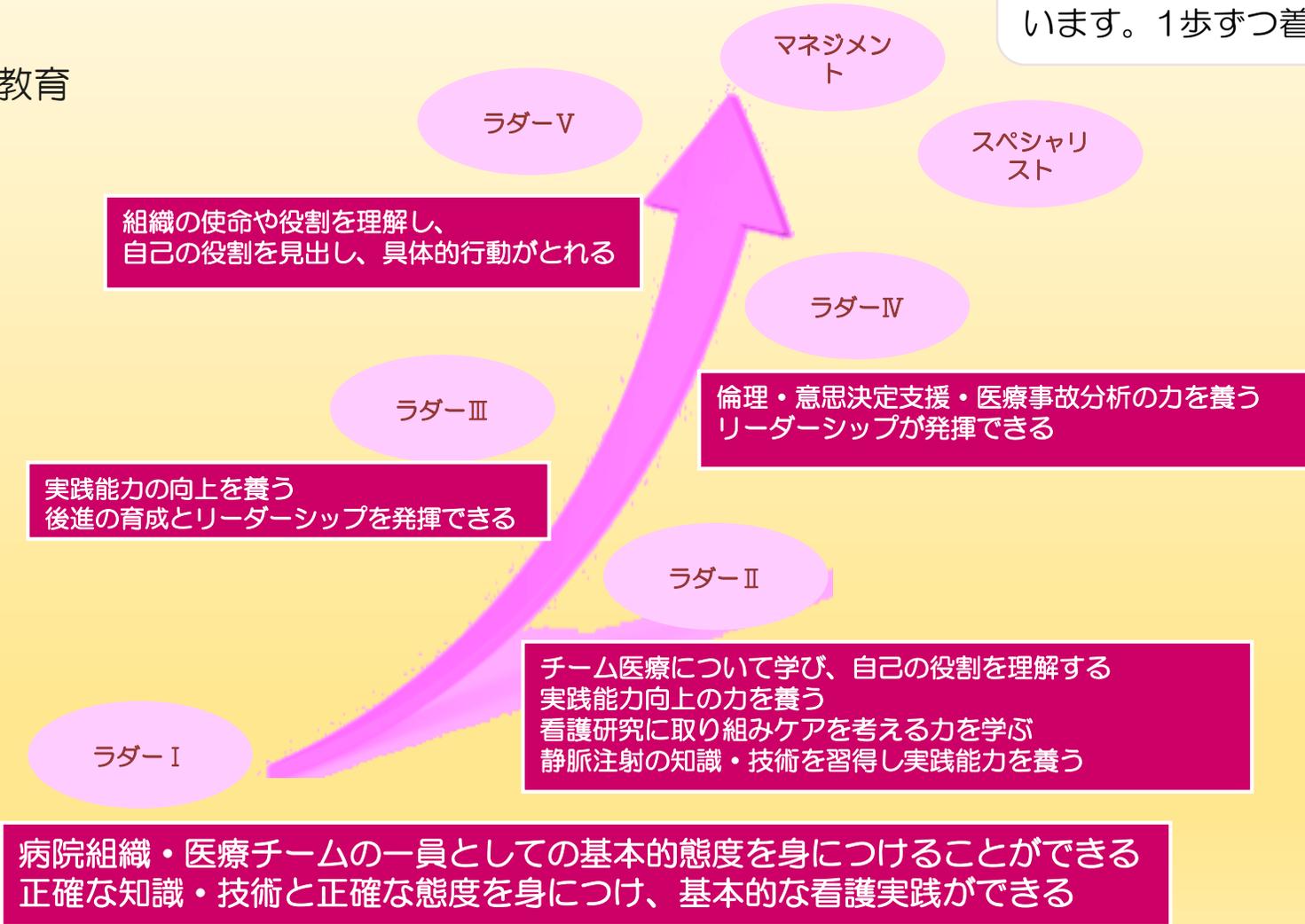


看護部教育体制

◆看護部クリニカルラダー
(看護実践能力評価表)
目標達成に向けた集合教育
に参加する。

求められる能力

- ①ニーズをとらえる力
- ②ケアする力
- ③協働する力
- ④意思決定する力
- ⑤教育・研究の力
- ⑥管理・統制する力

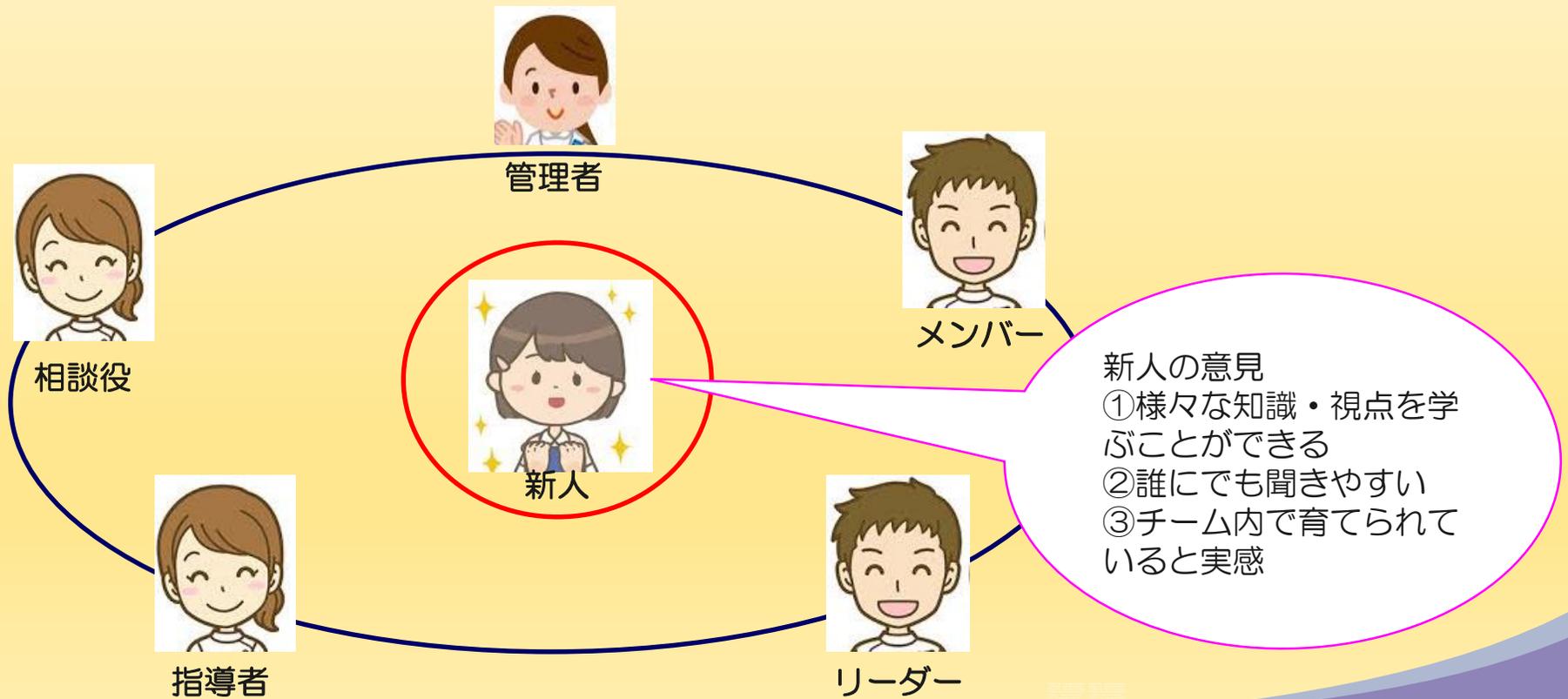


臨床実践能力の習得は5段階に分かれており、
各段階の目標に達成するための教育がくまられて
います。1歩ずつ着実に成長できます。

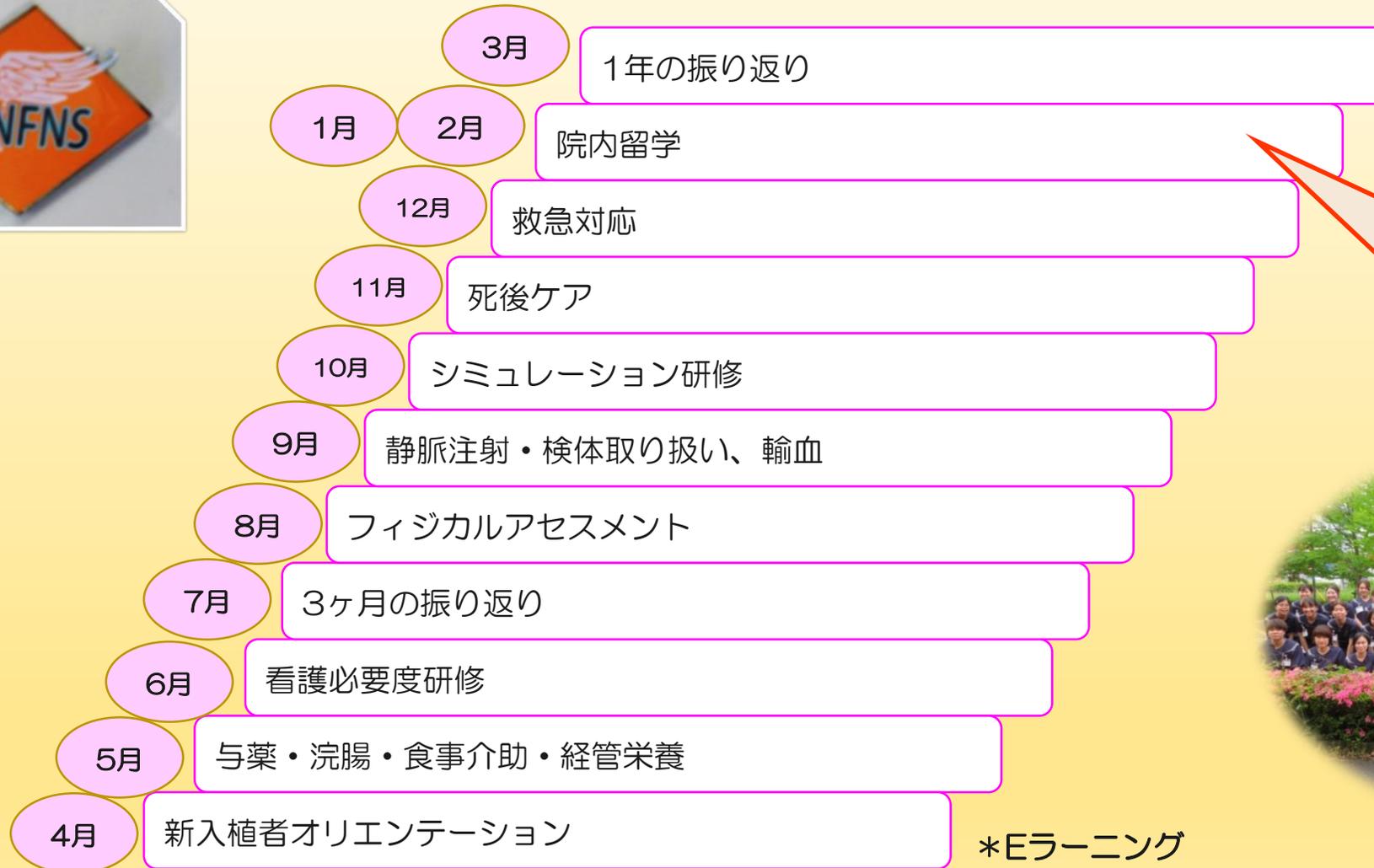
教育制度

チーム支援型教育制度

チームメンバーがそれぞれ役割を持ち、新人看護師の成長を共有し、サポートする。
常に上級者とペアで行動するため、安心・安全な看護の提供ができる。



新人1年目 教育プログラム



所属部署では経験できない知識や技術の学びを深めるため、他病棟で学ぶことです。



*Eラーニング
ナーシングスキルの活用

新人看護師教育スケジュールパス

標準的な新人看護師教育スケジュールパス

標準的な新人看護師教育スケジュールパス							
	4	5	6	7	8	9	10
基本的な進行	<ul style="list-style-type: none"> ○オリエンテーション ○集合研修 ○現場OJT（ヘアで行動） ○日勤のみ・定時に業務終了 	<ul style="list-style-type: none"> ○集合研修 ○現場OJT（ヘアで行動） ○夜勤オリエンテーション（練習を計画する場合は後半） ○日勤のみ・定時に業務終了 	<ul style="list-style-type: none"> ○集合研修 ○現場OJT（ヘアで行動） ○夜勤練習（+1人で計画） ○定時に業務終了 	○基本技術の取得状況に合わせ（日勤・夜勤ともに）受け持ちの数、患者の重症度等を上げていく（必ずヘアで行動）			
新人の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ○病院の概要を知り看護部組織について理解できる ○部署の特殊性を理解できる ○健康管理を行い、休まずに出動できる 	<ul style="list-style-type: none"> ○組織人としての自覚を持ち責任ある行動がとれる ○不安や疑問を相談できる ○健康管理を行い、休まずに出動できる ○基礎的な看護ケアの実践ができる ○職員及び患者とのコミュニケーションが図れる 	○	<ul style="list-style-type: none"> ○部署の業務の流れを理解し、行動できる ○必要な連絡・報告・相談ができる ○必要な看護ケアを対象に合わせて実践できる ○振り返りと課題を明確にすることができる ○時間内に業務を終了する努力ができる 	<ul style="list-style-type: none"> ○対象に合わせた看護ケアが選択できる ○日勤・夜勤における自分の役割を理解し行動できる ○必要な連絡・報告・相談ができ、対応について考えられる ○時間内に業務を終了することができる ○未経験項目を自ら経験する調整ができる 		
記録	○一人での記事記載はしない ○重症度、医療・看護必要度の評価入力はない			○確認及び承認をもらった上で記事記載の入力 ○院内研修終了後、確認及び承認をもらった上で重症度、医療・看護必要度の評価入力			
基本的姿勢	<ul style="list-style-type: none"> □倫理に基づいた人権擁護 □看護行為の危険性と理解 □職人としての自覚 □患者の尊重 □説明と同意 □守秘義務とプライバシーへの配慮 □看護は患者中心のサービスであることへの理解 □病院及び看護部理念の理解と行動 □病院及び看護部組織と機能の役割 			<ul style="list-style-type: none"> □患者ニーズの把握 □受容と共感の態度 □医療者との適切なコミュニケーション □自己評価及び他者評価を踏まえた自己学習課題の明確化 			
管理的側面	<ul style="list-style-type: none"> □医療安全体制の理解 □事故事例の報告 □施設内の医療情報に関する規定の理解 □患者への適切な情報提供 □医療情報や記録物の取扱い □看護記録 □基準・手順に沿ったケア □報告・連絡・相談 □消火設備・避難ルートの理解 			□時間管理（業務を時間内に実施） □防災訓練参加 □消火設備・避難ルートの患者への説明			
環境調整技術	<ul style="list-style-type: none"> □ベッド周囲の環境整備（温度、湿度、換気、採光、臭気、騒音、病室整備） □基本的なベッドメイキング □基本的なリネン交換 			□対象に合わせたベッドメイキング（手術等）			
食事援助技術	<ul style="list-style-type: none"> □疾患別の食事の理解 □対象に応じた食事の工夫と援助 			□経管栄養法 □対象の状況に応じた食事の工夫と援助（臥床患者等）			
排泄援助技術	<ul style="list-style-type: none"> □便器・尿器を当てる介助 □オムツ交換 □留置カテーテル挿入中の観察（尿の性状・量等） 			□導尿 □膀胱内留置カテーテルの挿入と管理（挿入に関しては女性のみ） □洗滌			
活動休息援助技術	<ul style="list-style-type: none"> □歩行介助 □車椅子への移動介助及び移送 □ストレッチャーへの移動介助及び移送 □良肢位の保持 □ボディメカニクスの知識や技術を用いた体位変換 □食事・排泄・清潔・騒音等の環境を整え睡眠の質を高める援助 			□ボディメカニクスの知識や技術を用いた体位変換（手術後、麻痺等で活動に制限のある患者への実施）			

1年目：ラダーⅠ



新人オリエンテーション
技術演習



静脈注射研修



シミュレーション研修

2年目：ラダーⅡ初級



静脈注射研修



3年目：ラダーⅡ上級



卒後3年目研究発表会



*1年～3年の間で、基礎知識、基礎技術を学びます。

看護の現場



日勤のユニフォーム



夜勤のユニフォーム

看護の現場

病棟看護師の1日の流れ（2交代制）



9:00～
スケジュール調整
環境整備
内服介助
点滴準備・投与



9:30
清潔ケア
2時間ごとの巡視
体位変換
入院迎え

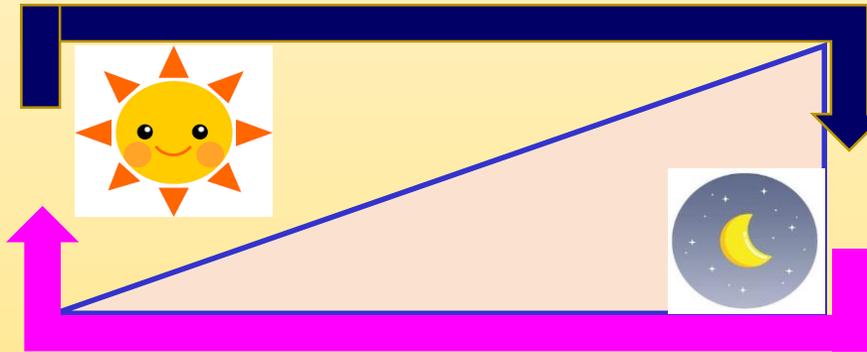


11:30
血糖測定
食事休憩

12:00
インスリン注射
配膳・下膳
食事介助
配薬
口腔ケア



8:30-8:45
情報収集
8:45～
申し送り



13:00
検温
記録
患者ケア
入院迎え



8:00
インスリン注射
配膳、下膳
食事介助
口腔ケア

16:30-16:45
情報収集
16:45～
申し送り



22:00
2時間ごとの巡視
体位変換
記録
交代で仮眠休憩



21:00
血糖測定
インスリン注射
イブニングケア
消灯



18:00
インスリン注射
配膳・下膳
食事介助
配薬・検温・口腔ケア
食事休憩

17:00
患者への挨拶
血糖測定
点滴準備



6:00
採血、尿測
検温
血糖測定
モーニングケア



就職先の決め手（2021年入職者）

	就職先の決め手
1位	病院の雰囲気
2位	独自の教育体制
3位	給与・福利厚生
4位	卒後教育の充実（1年目）
5位	希望の看護ができそう

茨城医療センターについて

知ってもらえましたか？



私達と茨城医療センターで働きませんか？

皆さんと一緒に

お仕事できることをお待ちしております。

